

企画展「いくつものNAOSUKE(s)」

ー 幕末の大老井伊直弼のイメージをたどる

開催期間：2016年1月12日（火）～6月30日（木）

《第1期：2016年1月12日（火）～3月31日（木）》※展示替え期間を含む

《第2期：2016年4月 4日（月）～6月30日（木）》☆：追加された展示

その生地である彦根では「開国の英雄」や「開港」の功労者として讃えられている井伊直弼は、どのようにみられてきた人物なののでしょうか。さまざまに毀誉褒貶が取り沙汰されている直弼のイメージの、その一端を展示します。

1. 事件 ー 桜田門外での出来事とその後 ー

のちに万延と改元される安政7年3月3日（1860年3月24日）白昼に、井伊直弼は桜田門外で襲撃され暗殺されました。そのようすは、絵巻や絵入り和綴じ冊子に描かれてゆきます。直弼を殺害する／直弼が殺害された、という2つの視点があらわれます。

- ・〔桜田門外之変図〕全体、蓮田市五郎画、〔1860年〕、茨城県立図書館所蔵 / パネル

- ・〔桜田門外之変図〕部分 / パネル

- ・『近世桜田講談』部分「岡部千次郎外一名中将の首級を携へ水戸に到る」、小林鉄次郎編、小林鉄次郎、1874年、画工山崎年信、国立国会図書館近代デジタルライブラリー / パネル

☆ 絵本『弥生之雪桜田実記』、篠田仙果編、方円舎清親画、杉浦朝次郎、1877年、国立国会図書館近代デジタルライブラリー / パネル

- ・『桜田紅雪記』部分、坂田善吉編、坂田善吉、1879年、国立国会図書館近代デジタルライブラリー / パネル

- ・『桜田日記 下』部分、辻岡文助編、辻岡文助、1881年、国立国会図書館近代デジタルライブラリー / パネル

☆ 絵本『上巳の雪血汐桜田』、大西庄之助編、松延堂、1884年、国立国会図書館近代デジタルライブラリー / パネル

☆ 絵本『桜田血染雪』、沢久次郎編、沢久次郎、1888年、国立国会図書館近代デジタルライブラリー / パネル

- ・『日本史A』第5章「開国と明治維新」93頁、著者高村直助ほか、山川出版社、2002年

- ・『近世桜田講談』表紙

- ・『春雪奇談近世桜田紀聞』部分、松村春輔編、武田伝右衛門、鶴声社、画図月岡芳年、1886年再版

- ・『春雪奇談近世桜田紀聞』部分 / パネル

- ・「三月三日供揃図」『彦根市史中冊』、中村直勝監修、彦根市役所発行、1962年 / パネル

- ・『彦根市史中冊』、中村直勝監修、彦根市役所発行、1962年、767頁 / パネル

2. 銅像 ー 2つの場、2つの像 ー

井伊直弼の銅像は、1909年に横浜に、その翌1910年に彦根に建立されます。作者も大きさも表情も異なる2体の銅像がつくられました。そしてどちらも第二次世界大戦時に金属回収で供出され、その後にもたまたそれぞれに再建されました。

- ・井伊直弼初代銅像（横浜掃部山）、人見幾三郎編『京浜所在銅像写真』第1輯、諏訪堂、1910年 / パネル

- ・井伊直弼初代銅像（横浜掃部山）、新居房太郎編『偉人の倂』二六新報社、1929年第二版、初版 1928年 / パネル

- ・井伊直弼初代銅像（彦根招魂社脇）、小林棄三編『故井伊直弼朝臣銅像除幕式之記』小林棄三、1911年、非売品、彦根市立図書館所蔵 / パネル

- ・井伊直弼2代め銅像（横浜掃部山公園） / パネル

- ・井伊直弼2代め銅像（彦根金亀児童公園） / パネル

- ・横浜掃部山公園パノラマ / パネル

- ・「横浜掃部山井伊公銅像」絵葉書、初代

- ・「北米合衆国水師提督ペルリ上陸の光景と開国の偉勲者井伊直弼の像」絵葉書、初代

- ・「近江彦根 井伊直弼朝臣銅像」絵葉書、初代

- ・「近江彦根 井伊直弼朝臣銅像」絵葉書、初代

- ・「彦根 井伊大老銅像」絵葉書、初代

- ・「彦根城、井伊直弼朝臣銅像」絵葉書、初代

3. 顕彰 ― 開国と開港をめぐる人びと ―

20 世紀初頭の横浜において、横浜開港の功労が讃えられ、その記念碑が公共の場所につくられた人物は、井伊直弼ただひとりといってよいようすでした。横浜での開国百年祭を機に直弼の銅像が再建され、さらにほかの人物の顕彰も顕著になります。

☆「佐藤政養先生之像」(山形県飽海郡遊佐町)/パネル

・「佐藤政養先生関係遺物展覧会」1927年9月29日～10月2日開催 横浜市立図書館(野毛山)/パネル

・井伊直弼2代め銅像 1954年6月2日建立 掃部山公園 /パネル

・「横浜開港之首唱者岩瀬肥後守忠震顕彰碑」1982年11月建立 本覚寺 /パネル

・「横浜開港の先覚者佐久間象山の碑」1954年10月1日建立 野毛山公園 /パネル

☆「ペリー提督 来航記念碑」(北海道函館市)/パネル

☆「徳川斉昭公像」(茨城県水戸市)/パネル

☆「松陰先生之像」(東京都世田谷区)/パネル

☆「象山先生遭難之碑」(京都府京都市)/パネル

4. その後 ― 歴史が動く、歴史となる ―

桜田門外での事件をめぐって当事者双方の顕彰がおこなわれ、それぞれに記念碑がつくられ、歴史がつくられてゆきます。そのときから156年となるいまにいたるまで、小説や映画にもそれぞれがとりあげられました。

・『桜田事変』、著者吉川英治、改造社、1934年

・『井伊大老』、著者吉川英治、愛山社、〔年不詳〕

・『首』、著者山田風太郎、東都書房、1958年

☆『花の生涯』上・下、著者舟橋聖一、三笠書房、1974年

☆『安政の大獄 大仏次郎時代小説全集14』、著者大仏次郎、朝日新聞社、1975年

☆『安政の大獄』、著者大仏次郎、徳間書店、1990年、初出『時事新報』1933年12月から1934年9月まで連載

☆『巨人伝説』、著者野口武彦、講談社、2010年、初出『群像』2008年から2009年まで連載

☆『幕末』、著者司馬遼太郎、文芸春秋、1977年、初出『オール読物』1963年連載など

・「桜田十八烈士五拾年祭記念絵葉書」、1910年

・『十八烈士桜田快挙録』、著者高橋筑峰、春江堂書店、1910年第三版、初版1910年

・『桜田快挙烈士銘々伝』、著作者吉田奈良丸事広橋広吉、郁文舎ほか、1912年

・「桜田烈士遺跡碑除幕式記念」絵葉書、1941年



『近世桜田講談』部分「岡部千次郎外一名中将の首級を携へ水戸に到る」、
小林鉄次郎編、小林鉄次郎、1874年、画工山崎年信、国立国会図書館近代デジタルライブラリー